

Gakugei  
Konjaku  
2017

學藝今昔



●写真上・下：東京学芸大学開学記念式典(1949年)  
(向かって右の門標に東京学芸大学、左の門標に東京第一師範学校・東京第一師範学校男子部附属中学校とある)

【会期】2017年11月14日(火)～11月22日(水)

【時間】9:00～17:00  
(土日も含む。ただし最終日は13:00まで)

【場所】東京学芸大学芸術館

【主催】東京学芸大学大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室事務室 [電話] 042-329-7896





## ご挨拶

大学史資料室主催の展示会は第5回を迎えました。今年度のテーマは、「學藝今昔」です。11月18日、東京学芸大学主催の国際シンポジウム「師範学校アーカイブズの現状と課題」に関連し、これまでの4回の展示会を集大成するかたちで、少し規模を大きくして開くことにしました。

教育は、いつの時代も、教師と児童・生徒を中心にしながら、これを取り巻く教育環境・社会環境と深くかかわりながら展開してきました。明治5年(1872)、明治政府は学制を公布し、「国民皆学」をめざし、翌6年東京府小学教則講習所を設立しました。これが東京学芸大学の起源です。明治30年に高等師範学校、女子高等師範学校、師範学校による中等学校と初等学校の教員養成体制が確立されると、翌年に東京府師範学校になります。この学校はさらに東京府青山師範学校と改称され、のちに設立された東京府女子師範学校、同豊島師範学校、同大泉師範学校などとともに、本学の前身となります。昭和18年(1943)、これまで東京府が設置していた師範学校は、一斉に官立(国立)となり、名称も東京第一師範学校、同第二師範学校、同第三師範学校に変わりますが、基本的な体制は継承します。

昭和20年の第二次世界大戦の敗戦ののち、昭和24年の国立学校設置法の公布により、新製の学芸(教育)大学や学芸(教育)学部として再生します。このとき、東京学芸大学は、先の諸学校をもとに新たに発足しました。以上のように、東京学芸大学は、ある日突然設立されたわけではなく、東京府小学教則講習所設立から150年近い歴史をへて、今日の姿になったのです。

大学史資料室は、東京学芸大学の歴史資料(アーカイブ)を通じて、今日の教育と教育環境・社会環境を考え、未来を構想する使命(ミッション)をもっています。私は、ふだん授業などで学生の皆さんに、「歴史を学ぶことは、歴史から学ぶこと」と、言っています。昨今の国会や行政の公文書保存についての議論や報道を見るにつけ、組織・集団における文書保存利用の理念・システムの大切さを、あらためて認識しつつあります。

今回の展示が、見学者のみなさまにとって、本学と日本の教育の現在と未来、教育環境、社会環境を考える機会になれば幸いです。

2017年11月14日

東京学芸大学大学史資料室長/副学長・附属図書館長

大石 学

●東京学芸大学主催国際シンポジウムを開催します。

「師範学校アーカイブズの現状と課題 — 20世紀 東アジアの教育と向き合う —」

2017年11月18日(土) 9:30~17:00 東京学芸大学 S410教室にて

Gakugei  
Konjaku  
2017

學  
藝  
今  
昔

